

# 論文内容要旨

## 論文題目

AVIM( asymptomatic ventriculomegaly with features of iNPH on MRI)の自然経過及び iNPH への進展の予測因子の探索

責任講座： 内科学第一講座

氏名： 公平 瑠奈

## 【内容要旨】(1,200字以内)

AVIM (asymptomatic ventriculomegaly with features of iNPH on MRI) の危険因子および自然経過(将来、特発性正常圧水頭症(iNPH)に進展する頻度等)は不明である。これらを明らかにすることを目的として本研究を行った。iNPHの全国疫学調査(一次調査)において、2012年時点で脳MRI上、iNPHの特徴を有する無症候性脳室拡大例を診療していると回答した施設を対象にアンケート形式で本調査を行った。さらに、2015年の時点でも通院継続している症例に対して追跡調査を行った。2012年の調査で107例の登録があり、そのうちAVIMの診断基準を満たしていたものは93例であった。2015年時点で通院継続していたものは52例、そのうちiNPHに進展していたものは27例であった。臨床パラメーター解析の結果、併存疾患および既往によるiNPHへの進展率に有意差はみられず、初期iNPHGS合計値とiNPHへの進展率において、合計値が大きくなるほどiNPHに進展しやすい傾向が見られた( $p=0.0021$ )。AVIMからiNPHへの進展率は、27/52/3年(17.3/年)であった。AVIMからiNPHへの進展のリスクとして、診察所見では他覚的に無症候であっても、自覚症状がある場合、数年のうちにiNPHに進展する可能性があり、注意深い経過観察が必要と考えられる。

平成 30 年 1 月 12 日

山形大学大学院医学系研究科長 殿

## 学位論文審査結果報告書

申請者氏名： 公平 瑠奈

論文題目： AVIM(asymptomatic ventriculomegaly with features of iNPH on MRI)の自然経過  
及びiNPHへの進展の予測因子の検索

審査委員：主審査委員

園田 慎考 (印)

副審査委員

本郷 誠治 (印)

副審査委員

今田 恒夫 (印)

審査終了日：平成 30 年 1 月 11 日

### 【 論文審査結果要旨 】

iNPHの画像所見を呈するが、症状がないか、軽度であるAVIMの自然経過を前方視的に検討し、①AVIMが効率的にiNPHに進行すること、②他覚的には無症状でも自覚的症状がある場合はiNPHへの進行の確率が高いこと、を明らかにした。学位論文に値する研究内容であるが以下の点を修正する必要がある。

1. 論文の体裁を山形医学に準じて訂正すること
2. 研究背景を目的とは分けて記載すること。特にAVIMの疾患概念に関する国内外での位置づけを論文等を引用しつつ記載すること
3. 考察のp. 11 フォローアップの項の記述を、より詳細に記述すること
4. 図3の初期iNPHGSが0と1-3との群間を統計学的に比較し、結果・考察に記載すること
5. 表7のp. 0.004がどの群間を比較しているのかきちんと示すこと
6. 図3と表7の結果から、iNPHGS 1-3と歩行iNPHGS 1がリスクなのかを考察で述べること
7. p. 4 脂質異常症 >140mg/dl を>140mg/dl に訂正すること
8. 表3 認知iNPHGSと歩行iNPHGSを入れ替え訂正すること

以上

(1, 200字以内)